



**UNDER EMBARGO until 13 November 2014,**

**13:30 p.m. Myanmar local time (GMT +6:30)**

**新興アジアでは中期的には、堅調な成長が見込まれるものの、長期的には改革を遂行する“制度”の質を強化する改革が不可欠**

ネピドー、ミャンマー、2014年11月13日- OECD 開発センターは、新たに公表した年次報告書「東南アジア、中国、インド経済アウトルック 2015」で、OECD 加盟国の成長が引き続き緩やかな成長を示す中、新興アジア諸国は中期的に好調な成長を維持するとの見通しを示しました。2015年から19年までのASEAN 10カ国および中国とインドの年間GDP成長率は平均で6.5%となる見通しです。他方、新興アジア地域は、多くの国内外の様々なリスクに直面しており、改革の継続、アジアにおける地域統合の促進および制度的カパシティの強化が、益々重要になってくることを指摘しています。

「経済アウトルック 2015」によれば、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ及びベトナムをあわせたASEAN 5カ国の成長率は、中期的に底堅く、とりわけインドネシア(6.0%)、フィリピン(6.2%)が高い成長を維持すると見通しています。ブルネイとシンガポールは比較的安定した経済見通しで、CLM 諸国—カンボジア、ラオスそしてミャンマーは、中期的に7%を超える成長が予想されています。

新興アジアの大国である中国とインドの見通しにも変化がみられます。中国では、人口動態の変化に沿う構造調整、投資から消費主導の成長への移行、また農業、環境および教育といった領域での課題がある中、成長率は2015年から19年にかけて6.8%まで緩やかに減退することが予測されています。インドは、新政府の新たな改革プランの進捗による不確定要素があるものの、6.7%と安定した成長が予測されています。

本日ミャンマー開催された ASEAN ビジネス・投資サミットにおける本アウトルックの発表にあたり、玉木林太郎 OECD 事務次長は、「新興アジア経済は底堅いが、外需の鈍化や地域内の政情不安など幾つかのリスク要因がある。2015年のASEAN 経済共同体(AEC)に向け域内の統合をさらに推し進めること、また各国が必要な改革を実施していくための、公共部門の政策遂行能力を高める必要である。」との見方を示しました。

マリオ・ペッツィーニ OECD 開発センター所長は、「包括的かつ持続的な成長を促進するために、東南アジアの地域において制度の質・キャパシティを強化することが重要である。経済アウトルック 2015では、各国の経済事情をふまえて、包括的で、優れた経済開発計画を策定し、そしてその計画、改革を効果的に遂行していくことの重要性を強調している。」と指摘しています。



新興アジア諸国の中期経済開発計画の中で定められている目標は、概して各国の政策優先課題を捉えているものの、実際の目標達成レベルは、国によってまちまちです。

例えば、インドネシアにおける「2010~14 年国家中期開発プラン」、フィリピンでは「フィリピン開発プラン 2011~2016」は、概して各国の好調な経済状況に貢献したものの、国内の格差という面では、課題が残ります。第 10 次マレーシア計画(2011~15 年)により、安定した成長を記録しているマレーシアは、「包括的(インクルーシブ)」や「持続的な」成長のため更なる努力が必要で、高所得国入りするために、更なる生産性の向上が必要です。

公共部門の改革は、いくつかの成果を遂げてきましたが、新興アジアの多くの国は *Government Effectiveness Index*(政府の有効性を示す指標)や他の公共部門のパフォーマンスを測る尺度においてより良い成果をおさめるため、さらなる改善が必要です。

報告書は、同様に、新興アジア諸国が法や契約の履行など市場メカニズムをもとにした制度の構築や、税制、民間部門への規制において、依然課題が多い点を述べています。これらの分野は新興アジア諸国に未だに広く存在するインフォーマル経済からの柔軟性のあるフォーマル経済への移行という課題として関連し、今後の重要な課題となると指摘しています。

詳細は、以下にお問い合わせください。

OECD開発センター、田中 兼介 (kensuke.tanaka@oecd.org)、Bochra Kriout [Bochra.Kriout @oecd.org](mailto:Bochra.Kriout@oecd.org)、パリ、+33(0)6 26 74 04 03、及び、OECD東京センター、川口尚子 [Naoko.Kawaguchi @oecd.org](mailto:Naoko.Kawaguchi@oecd.org)、+81.(0)3.5532.0026)

「東南アジア、中国、インド経済アウトルック」の詳細については、以下をご参照ください。 [www.oecd.org/dev/economic-outlook-for-southeast-asia-china-and-india-23101113.htm](http://www.oecd.org/dev/economic-outlook-for-southeast-asia-china-and-india-23101113.htm).

「経済アウトルック」は、本2014年のOECD閣僚理事会議で発表された東南アジア地域プログラムの一環として貢献するものです。東南アジア地域プログラムはOECDとASEAN諸国の政策立案者間でベストプラクティスの交換および互いに議論、共有することを目指しています。